

# 新潟県剣道連盟会報

## 三〇年度スタート雑感

一般財団法人 新潟県剣道連盟

会長 本間厚太郎



会長職を担って一年が経過しました。この間、直近の専・常務理事を始め副会長、各理事並びに会員各位に支えられてどうか最低限の職責を全うできたと感謝申し上げます。

さて本年度の事業計画につきましては三月定時理事会で活発に審議し、順調にスタートしております。新規事業の主なものとして、会員の資質向上及び各地域等の指導体制を確立するため〇二日間による全剣道後援剣道指導者講習会（審判法・指導法）  
〇新剣連主催指導者講習会（日本剣道形）

〇新剣連主催 2 回の剣道六・七段及び八段受審講習会（1 回は六・七段と八段を分離）を実施します。多数の皆様の受講を願っております。

また五月定時評議員会において決議され、新剣連加盟団体に新たな加盟団

体として、県剣道道場連盟と県高齢剣友会が加わりました。両団体とも今まで新剣連会員構成の任意団体でありましたが、法人化組織の正式団体となりました。今後は対外的にも認知され、少子高齢化現象の中で剣道人口減少の歯止めと剣道普及発展に寄与されることを期待しております。

一方、年度初め早々、剣道八段審査会において本県から待望久しかった若手八段が誕生しました。詳細は後述に回しますが、高校教員（教頭）という要職にあっての快挙を成し遂げた高橋直志先生（五四歳）を皆さんで祝福したいものであります。平素の努力の賜物と心から敬意を表したいと存じます。これから一層、本業の学校運営並びに生徒の指導育成に傾注しつつ、新剣連の諸活動にご尽力をいただければと念じております。

また、六・七段審査会では女子剣士 4 人を含む多数の方が合格しており、本格化する夏・秋審査会へ励みとなり

ました。

ところで最近の小職は余暇を持て余して、テレビを観る機会が増えました。しかし、どの局番組とも似たような構成が多く感動・共感を覚えないのは小職だけでしょうか？そこで失礼ながら「ちょっと一休み、感動できない言葉」の思いつきを紹介します。  
※テレビでいくら聞いても何も残らない私のベスト 3 言葉。

〇政治家の、心という根っこにつながらない浮草のような虚しい言葉

〇タレントの、ひたすら垂れ流しているような饒舌（じょうぜつ）な言葉

〇知識人の、体験に根ざさない、受け売りの薄っぺらな知識をひけらかす言葉

しかし、私自身「人の振り見て我が振り直せ」のことわざを座右の銘の一つとして、仕事、私生活、剣道等に活かしてきたつもりですが、なかなか軌道修正に難儀し自己嫌悪に陥っております。せめて私ども剣道愛好家は、一般社会から特異な目で見られないよう、各種会議・酒席・地域活動等において常識的（場の空気を読む）な言動を実践したいものです。

結びに、昨今、県内でも女兒殺害事

件や予期せぬ事故等が発生し「地域の宝」ともいふべき幼い命が失われております。新剣連としても可能な限りの安全対策を講じ、防具、竹刀の安全点検及び稽古・試合中の受傷・体調不良等の事故防止に配慮してまいります。会員の皆様にあつては、移動中の交通事故防止等を含めて気をつけていただきたいと思っております。今年度も会員皆様ご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

### 新剣連 平成三〇年度 定時評議員会

期日 平成三〇年五月二〇日（日）  
会場 新潟市江南区 亀田市民体育館

- 1 開会宣言 事務局長 木村 嘉靖
- 2 会長挨拶 会長 本間 厚太郎
- 3 功労者表彰 配布資料「二九年度功労者表彰」により表彰  
新潟県居合道部会団体二位の功労者 3 名及び居合道五段の部優勝、草間大介、同六段の部二位、大西恵の個人に対し、本間会長から表彰状が授与された。
- 4 議長選出 小須戸剣道連盟 田沢 広一
- 5 議事録署名人の選出 妙高剣道連盟 平井 修二

6 豊栄剣道連盟 江村 兵平  
決議事項

(1) 「新潟県剣道道場連盟」・「新潟県高齢剣友会」の新規加盟団体(案)について

加藤専務理事が説明。質疑応答の後に諮られ異議なく承認された。

(2) 評議員の選任(案)に関する件  
加藤専務理事が配布資料に基づき説明した後に諮られ異議なく承認された。

(3) 平成29年度決算(損益計算書類)承認の件について

加藤専務理事より配布資料「平成29年度事業報告」に基づいて説明。また荻荘常務理事より配布資料「平成29年度収支決算書」に基づき説明。続いて桑原監事が配布資料「平成29年度会計監査報告書」に基づき説明の後に諮られ異議なく承認された

7 報告事項

配布資料「地区連絡協議会運営費について」・「一般財団法人新潟県剣道連盟審査員規程」に基づき加藤専務理事が説明した。

○賞状に関して都道府県大会予選会及び団体予選会において、代表者に認定書を授与することを説明。

○竹刀、剣道具の安全性と公平性に関して配布資料に基づき説明し、質疑応答後に閉会した

**大会  
結果報告**

その他の大会は  
新剣連ホームページを  
ご覧下さい

第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

とき…4月29日(日)

会場…エディオンアリーナ大阪

【二回戦】岡山に惜敗

新潟県2(3)―3(5)岡山県

先 須田 × 藤田

野瀬 メーメ 石本

木村 × 松本



中 木立 メー 難波  
西野 ー コメ 加藤  
松村 ー ド 尾池  
大 吉田 ー ド 竹内

国民体育大会成年男女新潟県予選会

とき…5月27日(日)

会場…長岡市北部体育館

▽成年男子の部

【先鋒】坂爪優太 ④(23) 燕

【次鋒】西野哲哉 ④(27) 警察

【中堅】礮 泰介 ⑦(41) 警察

【副将】南 昌和 ⑦(45) 新潟

【大将】直原 幹 ⑦(60) 上越

この結果成年男子は9月30日からの福井しあわせ元気国体に出場します。

▽成年女子の部

【先鋒】小川梨々香 ③(18) 地蔵堂

【中堅】成田奈津子 ④(33) 燕

【大将】荒川 紀子 ⑦(44) 上越

成年女子は8月25日の北信越国体(ミニ国体)成績により本国体へと進みます。

第27回新潟県女子選手権兼

第57回全日本女子選手権大会県予選会

とき…6月10日(日)

会場…上越カルチャーセンター

優勝 小川萌々香 (地蔵堂)

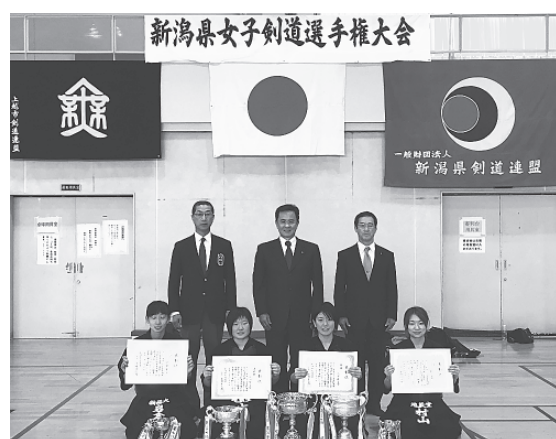
準優勝 小川梨々香 (地蔵堂)

三位 村山まみこ (地蔵堂)

三位 岩倉 薫子 (新潟大)

試合は決勝戦、小川姉妹の戦いとなりましたが、姉の萌々香選手に軍配。

県の長い歴史の中でも姉妹での出場は初。  
この結果、9月23日に長野市真島スポーツアリーナで開催される本大会に出場しますので皆様応援お願い致します。



第13回全日本都道府県対抗少年剣道最終選考会

とき…7月1日(日)

会場…亀田総合体育館剣道場

一位 大竹 陽向(新潟) 6年

二位 長谷川光希(上越) 6年

三位 金澤 心(新潟) 5年

四位 木村 龍青(阿賀野) 6年

五位 大竹 捷斗(新潟) 6年

この結果9月16日(日)に大阪府民共済SUPERアリーナで開催される本大会に出場します。





第10回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会  
とき…7月14日(土)  
会場…日本武道館(東京)

1 回戦。新潟県は宮崎県と対戦しましたが惜退。



新潟県 0 (0) | 1 (1) 宮崎県

- 丸山 | 日高
- 小川 | 小島
- 村山 | 中武
- 石井 | 興梠
- 田畑 | 長友

新潟県剣道選手権大会兼第66回全日本剣道選手権大会新潟県予選会

とき…7月15日(日)午前

会場…長岡市栃尾体育館

決勝は若手の台頭を阻んだ赤塚洋紀選手(警察)と松村暁広選手(新潟市)の対戦となり、優勝は、赤塚選手でした。過去2度に渡り決勝に進みながら涙を呑み、今回、どうしても欲しいタイトルでしたが、見事、全日本選手権初出場の切符を手に入れました。



優勝 赤塚洋紀(警察剣道連盟)  
準優勝 松村暁広(新潟市剣道連盟)

3 位 坂爪優太(燕剣道連盟)  
3 位 高橋優太(警察剣道連盟)

第47回新潟県高段者大会

とき…7月15日(日)午後

会場…長岡市栃尾体育館

主催…(二財)新潟県剣道連盟

主管… 栃尾剣道連盟

午前の第66回全日本選手権大会新潟県予選会と同会場にて引続いて午後は県高段者大会が開催されました。猛烈な暑さの中ではありますが左記のように優秀試合賞・優秀選手賞が贈られました。主管の栃尾剣道連盟においては大会設営、飲料水等万全な準備で臨んで頂き大会が成功裏に終わりましたことを厚く御礼申し上げます。

東軍17勝、西軍20勝、5引き分け(西軍の勝利)

優秀試合賞(1組)

19将 内野葉子(新潟) 対 野本由紀子(糸魚川)

優秀選手賞(10名)

- 川村 充(三条) 上谷貴洋(長岡)
- 星日出生(栃尾) 青柳利則(新潟)
- 五十嵐忠(新潟) 鈴木和彦(新発田)
- 吉田賢一(燕) 永井和憲(新潟)
- 山田六治郎(警察) 渡辺久雄(長岡)

六段の部  
先鋒池田(三島) ⊙ × ド 林(上越)

- 次鋒土佐(豊栄) | ⊙ × コ 新井(新潟)
- 40将渡邊(上越) | ⊙ × メ 川村(三条)

- 39将清水(長岡) ⊙ | 原田(妙高)
- 38将安達(五泉) ⊙ × | 今井(上越)
- 37将小林(五泉) | ⊙ × コ 国松(小千谷)
- 36将小幡(長岡) × | ⊙ × メ 川村(三条)
- 35将帆苜(五泉) × | 川上(阿賀野)
- 34将立川(燕) | ⊙ × コ 田中(栃尾)

七段の部

- 33将上谷(長岡) | ⊙ × ド × 伊藤(糸魚川)
- 32将山田(燕) | ⊙ × ド 星(栃尾)
- 31将岡崎(横越) | ⊙ × 田辺(地蔵堂)
- 30将山岸(小千谷) ⊙ × | 小根山(栃尾)
- 29将田澤(白根) | ⊙ × コ 小浦(栃尾)
- 28将天井(五泉) | ⊙ × 中村(新潟)
- 27将上谷(長岡) ⊙ × | 渡邊(糸魚川)
- 26将南雲(南沼) | ⊙ × メ 青柳(新潟)
- 25将渡邊(長岡) | ⊙ × 南(新潟)
- 24将桑原(津南) | ⊙ × 高嶋(上越)
- 23将柴田(長岡) ⊙ × | 藤塚(新潟)
- 22将篠田(燕) × | 小柳(新潟)
- 21将西村(燕) | ⊙ × 五嵐(新潟)
- 20将瀬賀(警察) ⊙ × | 田中(三島)
- 19将内野(新潟) × | 野本(糸魚川)
- 18将渡邊(柏崎) | ⊙ × メ 鈴木(新発田)
- 17将岡田(柏崎) ⊙ × | 宮下(糸魚川)
- 16将西村(燕) | ⊙ 澤見(佐渡)
- 15将吉田(燕) ⊙ × | 小泉(警察)
- 14将廣川(新潟) ⊙ × | 大橋(栃尾)
- 13将品田(柏崎) | ⊙ × メ 永井(新潟)
- 12将小瀨(三島) × | 小林(豊栄)
- 11将細貝(小千谷) ⊙ × | 佐藤(新潟)
- 10将藤井(五泉) | ⊙ × メ 鈴木(新発田)
- 9将黒津(警察) × | 宮下(糸魚川)
- 8将山田(警察) ⊙ × | 佐藤(西蒲)
- 7将齊藤(新発田) ⊙ × | 小川(上越)
- 6将久我(警察) ⊙ × | 大浜(上越)

- 5 将 加藤(学校) ①ツ 渡辺(長岡)
- 4 将 齋藤(警察) ②コ久保田(上越)
- 3 将 鈴木(阿賀野) ③ 青山(上越)
- 副将 田中(警察) メー 金田(新潟)
- 大将 藤田(亀田) ④メー 皆川(新潟)



高段者大会開会式



すでにご存知の方も大勢いらつしや  
ると思いますが、今年五月二日(二日  
目)の八段審査会において904人の  
受審者の中、合格率0.7%という難  
関を突破し、新潟県から待望の八段が  
誕生しました。  
喜びの声、そして感謝のお気持ちと  
共に剣道に向き合う姿勢で大切な事な  
どをご寄稿いただきました。まずは八  
段昇段おめでとうございます。  
合格の様子はYoutube 新潟県剣道  
連盟をご覧ください。

### 八段合格に寄せて

学校剣道連盟 高橋 直志



私はこの度、幸い  
にも七回目の挑戦で八  
段に合格させて頂きま  
した。この合格は言う  
までもなく、新潟県剣道連盟の本間厚  
太郎会長・加藤治専務理事はじめ多く  
の先生・諸先輩より頂いたご指導とご  
支援の賜物で御座います。この場をお  
借りし、心より御礼申し上げます。本

当に有難うございました。

私は七歳の時に見附剣友会にて剣道  
を始めました。長岡高校を経て國學院  
大學へ進学。大学では、故橋本明雄範  
士、平川信夫範士に師事。卒業後、帝  
京長岡高等学校に採用されて現在に  
至っています。

その当時は剣道部での指導の傍ら、  
長岡剣道会や学校剣道連盟の稽古会に  
足繁く通っておりました。そのお陰で、  
長岡剣道会を通じて中田琇士範士・浅  
野修範士・濱崎満範士、学剣連を通じ  
て故山崎正平範士、職場を通じて故大  
塚敬彦範士から並々ならぬご指導とご  
厚情を公私にわたり賜ることができま  
した。このご縁が無ければ今の私は絶  
対にありません。ただ職場では、当然  
のことながら年齢が上がるにつれて仕  
事の量も立場も、時には環境さえも変  
わります。私の場合は八年前に教頭職  
に就きました。その為、ここ数年は専  
ら生徒との稽古が中心となり、その機  
会を広く外に求めることが難しい状況  
になりました。だからこそ、新潟県剣  
道連盟が開催する講習会にはできる限り  
参加し、また、県警察学校での稽古会や  
共栄館、久武館への稽古にも時折お邪魔  
させて頂いてきました。つまりは、県内  
での各種講習会や道場での稽古が主と  
なっても、「夢」を叶えることができる  
ということだと思えます。ただし  
①目的意識をしっかり持ち『熱意・誠  
意・創意(工夫)』を持って稽古に  
臨むこと。  
②短時間でも構わないので、地稽古は

かりでなく、切り返しや打ち込み稽  
古を取り入れること。

③上手の先生に対しては懸かる稽古・  
切らない稽古そして打ち切る稽古に  
努めること。

④独りよがりの稽古にならないこと。

⑤諸先生方の助言に素直に耳を傾ける  
こと等は常に心掛けなければいけな  
いと思えます。

特に私の場合は、忌憚のない意見を  
言ってくださる先生方に囲まれており  
ました。それが今思えばどれ程幸いし  
たか知れません。

私の好きな言葉に『常在戦場』(長  
岡藩の藩訓)や『疾風知勁草』(後漢  
書王霸伝)がありますが、近年は『文  
は拙を以て進み、道は拙を以て成る』  
(菜根譚)という教えを心に刻み、稽  
古に取り組んでいます。ここで言う  
「拙」は「つたない」ということではな  
く、作為を施さない、飾らない、自分  
の「素」を意味します。自らの道は、持っ  
て生まれた本文を素直に謙虚に大切に  
伸ばすことよって伸長できることを  
指摘した言葉です。この素直な気持ち、  
淨き思いをこれからもずっと持ち続け、  
稽古に精進して参りたいと存じます。

二十年程前に放映された『心で闘う  
百二十秒』という番組を私は事あるご  
とに何度も観てきました。「剣道で一  
番大切なのは、驕らずに自分の弱点を  
見つけ、それを稽古で改めていく素直  
な心である。」番組の最後に語られた  
大阪の石田健一先生の言葉が、今更な  
がら強く心に沁みる今日この頃です。



## 講習会の報告

## 第五六回剣道中堅剣士講習会を受講して

長岡剣道会 上谷 貴洋



平成30年6月13日（17日までの5日間、ならでん武道場（奈良市中央武道場）で行われた中堅剣士会に、新潟県剣道連盟より推薦いただき、参加させていただきました。

過去にこの講習会に参加された先生方からは、この講習会を経験することが、自分自身の剣道を高める大変貴重な機会であるとお聞きしておりましたので、今回お声かけいただいた際には、非常に嬉しい気持ちがありました。またその一方で、県の代表として参加するという重い責任も感じました。ただ、せっかくいただいたチャンスなのだから、なんとか5日間食らいつくつもりで臨もうと、それまでの日々の稽古に励み、当日を迎えました。

今回この講習会には全国各地の50歳までの七段の方60名が参加しました。5日間の講習は、6時からの朝稽古から始まり、午前稽古、午後稽古、最後の指導稽古の後、最後は道場の雑巾がけ、食事当番等、連日剣道に没頭するような内容でした。

講習会初日は、奥島副会長の講話から始まり、「今回君たちには、

かなりきつい稽古をやっていたんだけど、なぜそのようなことをするのか、それは君たちの反省の機会にして欲しいからだ。また、やったことが無いことを人にやらせてはいけないからだ。今回の講習を通じて初心・基本に戻って欲しい」という話しをいただき改めて気持ちが引き締まりました。

その後の日本を代表する講師陣からの講習は、講話の通りのまさに基本を中心とした厳しいものですが、指導いただく中で、今までなんとなくやっていた基本に対して、多くの気づきを得ることができました。なかでも2日目に行われた中田範士による日本剣道形の講習では、刀法、理合、目付け、緩急の大切さ等、的確な実技指導をいただき、目からうろこが落ちる



ならでん武道場の景観

思いでした。その知識量のすさまじさに講習生の多くが感銘を受けていました。

このような日々剣道に没頭するような体験は私自身としては今までに経験したことが無く、気持ちは非常に充実しておりましたが、身体は日を重ねるごとに悲鳴を上げていきました。

疲れがピークにきている講習3日目、1000本素振りから始まり、切り返し、打ち込み、追い込み等々、身をもって経験させていただきました。厳しい講習内容ではありましたが、講習生同士で日々励まし合いながら乗り切り、なんとか5日間の講習を終えることができました。

今回の講習は、冒頭の講話にあった通り、「初心・基本に戻ること」がテーマであり、講習内容も非常に一貫していたと感じました。私自身初心に立ち返り、基本の大切さ、基本を元にした指導の大切さを、身をもって体験できたことは非常に得難い経験になったと感じています。

今後はこの経験を所属している長岡剣道会を中心に、できるだけ多くの方に伝え、微力ながらも新潟県剣道連盟に貢献できるよう尽力して参りたいと考えております。このような貴重な機会をいただきました、新潟県剣道連盟の関係各位に感謝を申し上げ、本講習会の報告とさせていただきます。

## 地域通信



今年三月、新潟日報中越版で柏崎の方が剣道の普及活動をされているという記事が紹介されました。そこで、早速柏崎剣道連盟事務局にリポートしていただきました。

## 剣道の普及活動紹介

柏崎剣道連盟 事務局

柏崎剣道連盟の会員の方で剣道の普及活動に取り組んでおられる方を紹介したいと思います。お名前は土田茂博さん（66歳）といえます。活動のきっかけとなったのは、次男の拓朗君をわずか10歳にして亡くされたことです。剣道が大好きで、道場に通うのが楽しみとなり、剣道の友達も沢山でき、これからという時に拓朗君は体育の授業中に倒れて帰らぬ人となりました。茂博さんは剣道を頑張っていた拓朗君の意思を形にして剣道の普及と少年少女の健全育成に貢献したいと日々考えていました。

そして、拓朗君が亡くなって20年目の節目の拓朗君の誕生日平成28年5月6日（に一般財団法人「たくろう未来基金」を設立。設立後は市内の中学校や地元剣士会、上越、中越地区の中学校等に竹刀を寄贈するなど普及活動に尽力されていきました。

また茂博さんは剣道の競技人口減少が懸念される現在、「剣道をやってみよう！」と思う子供たちが増えることを願い、なんと今年に入り、茂博さんと

